

■基本方針

- ・多様な舞台芸術に対応する舞台空間として、アマチュアを含む市民により創作された舞台芸術の公演から、プロによる優れた舞台芸術の公演まで十分に支援できる舞台設備として、以下項目に配慮した設備とします。

＜拡張性と柔軟性＞

- ・移動型調光器を積極的に採用し、主ホール、アトスペース、創造活動室A・B及び交流スクエアにて共通利用が可能とします。
- ・ホール内各所に直回路及びイーサネットコネクタを設備し、移動型調光器の利用に限らず、ムービングライト等の持込機材の利用にも柔軟に対応できます。
- ・持込照明機器電源盤を設備し、プロ公演に多用される持込機材への対応を可能とします。
- ・イーサネットによるシステムネットワークを採用し、拡張性と将来性を併せ持ちます。
- ・現在主流であるDMX信号への対応として、DMXノード（DMX信号変換器）を設備することにより、DMX信号制御の持込機材に対して柔軟に対応します。
- ・舞台上部設備は、任意の吊物ボタンを照明ボタンとして使用可能とする、移動式ケーブルリール給電方式とします。
照明ボタンには直回路及びイーサネットコネクタを設備し、移動型調光器の利用により、以下を基本設備とします。
 - ・ボーダーライト×2列、サスペンションライト×4列
アッパーホリゾントライト×1列

＜安全性＞

- ・固定調光器及び移動型調光器は共にインテリジェント機能を有し、漏電や過負荷等の検知が可能です。
障害情報の検知は迅速な対応を可能とし、使用者（舞台技術者）の安全を確保します。
- ・主ホールには演出照明モニタリングPCを設備し、リアルタイムに以下の検知情報を表示します。
 - ・漏電警報、抑圧
 - ・配線遮断器OFF検出、トリップ警報
 - ・電流モニタ
 - ・電圧モニタ
 - ・調光ユニット温度異常
 - ・障害履歴 他
- ・制御系の電源には無停電電源装置を使用し、瞬時停電等の電源トラブルに対応します。（主ホール、アトスペース）

＜操作性＞

【調光操作卓】

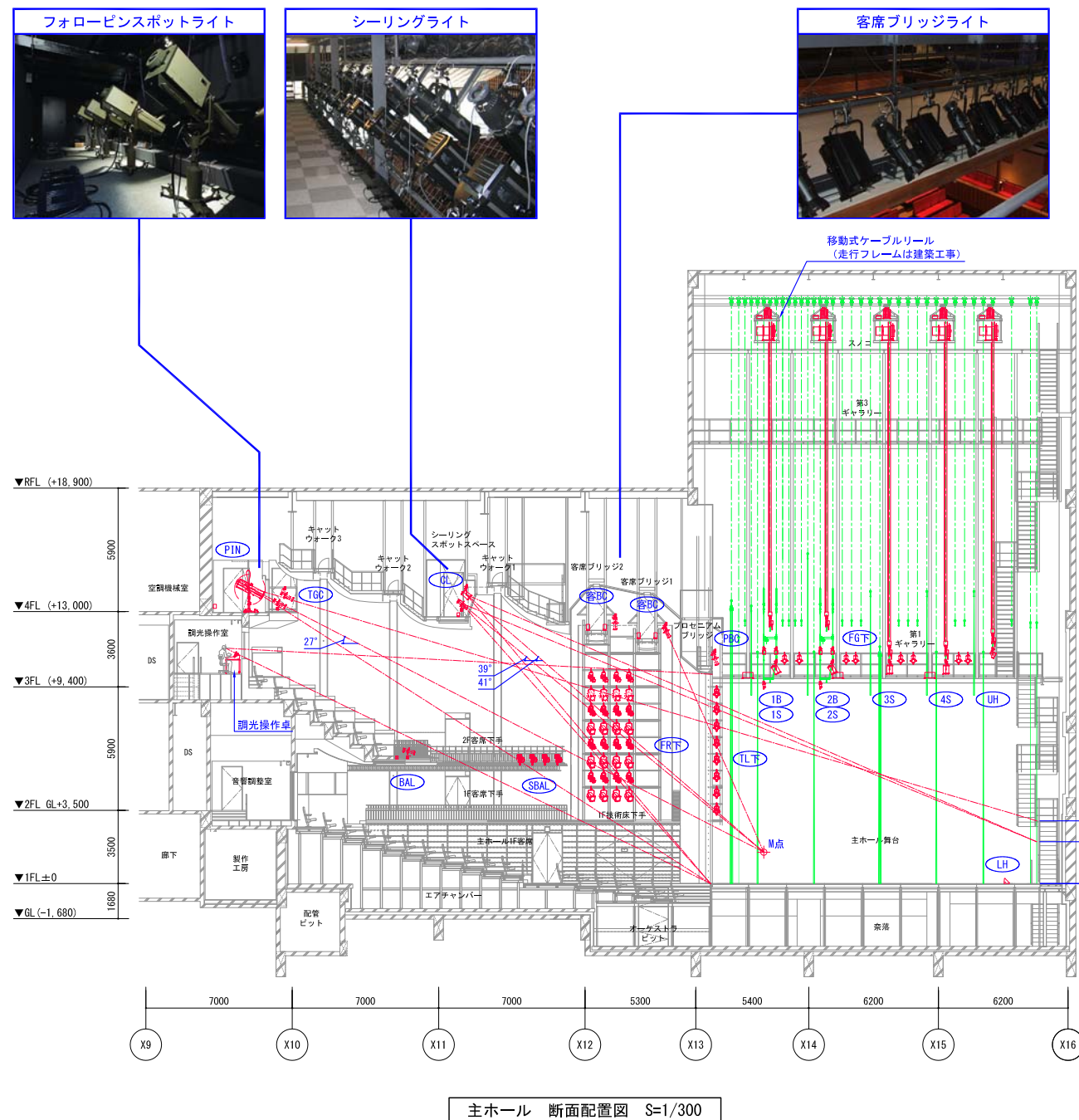
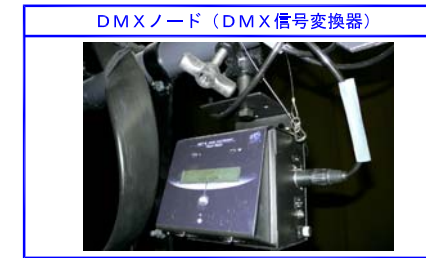
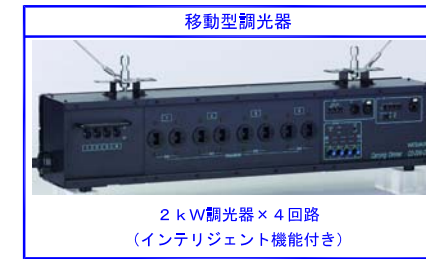
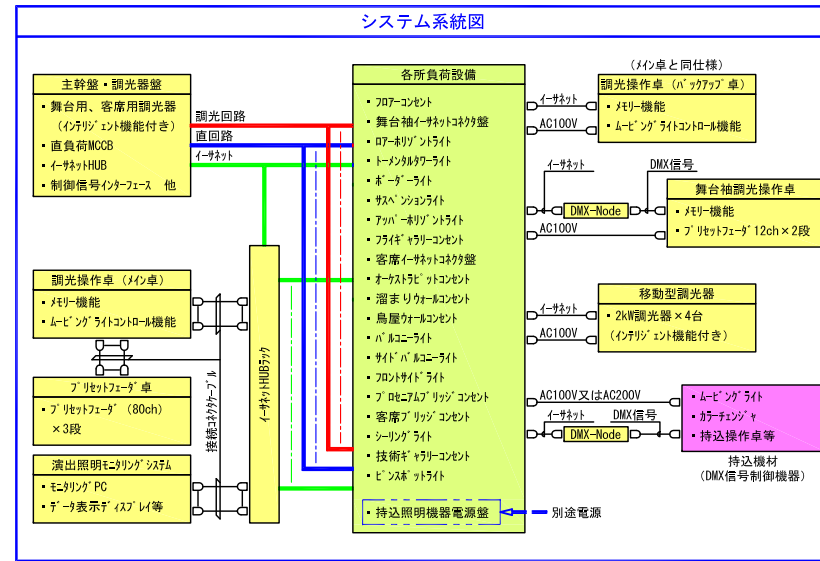
- ・メモリー操作卓とプリセットフェーダ操作卓で構成され、メモリー操作卓は客席内等に持ち出すことが可能です。
- ・同仕様のメモリー操作卓を2台設備することで、同期運転により一方の操作卓がバックアップ卓として動作する他、客席内に持ち出してデザイナー卓としての利用も可能とします。
- ・プリセットフェーダ操作卓を設備することで、アマチュアの方にも簡易調光操作を可能とする柔軟性を持ちます。

【舞台袖調光操作卓】

- ・本設調光操作卓とは独立したメモリー機能を持つ、小型の簡易操作卓です。

＜静粛性＞

- ・移動型調光器はファンノイズ及び調光ノイズの低減された調光器を採用します。
- ・熱膨張による軋み音を抑えた照明器具を採用します。



記号	名称
LH	ローホリゾントライト
IL下	トーマンタルタワーライト (下手)
1B	第1ボーダーライト
1S	第1サスペンションライト
2B	第2ボーダーライト
2S	第2サスペンションライト
3S	第3サスペンションライト
4S	第4サスペンションライト
UH	アッパーホリゾントライト
FG下	フライギャラリコンソント (下手)
PBG	プロセニアムブリッジコンソント
客BC	客席ブリッジコンソント
SBAL	サイドバルコニーライト
BAL	バルコニーライト
FR下	フロントサイドライト (下手)
CL	シーリングライト
PIN	フォローインスポットライト
TGC	技術ギャラリコンソント